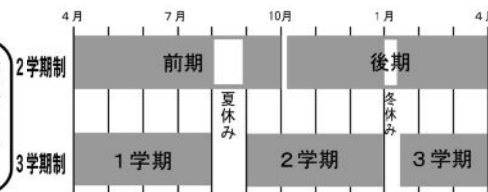


小・中学校での2学期制の見直しを

— 9月議会 鈴木たくや市議の質問から②

★2学期制は、長期休暇が学期の途中にある。3学期制は長期休暇で学期が区切られる。



今回は、9月議会で鈴木たくや議員がおこなった一般質問のうち、2学期制に関する質疑についてお伝えします。

鈴木 依然として多くの保護者が2学期制に疑問をもっていることについて、どう認識しているか？

教育長 保護者の評価については、羽村市学校アンケートをもとに把握しており、平成23年度の2学期制に関連する項目「学校は、確かな学力の育成の前提となる授業時数を十分に確保したり、個に応じた指導の充実を図るために子どもとのかかわりを増やしたりしている」では、否定的な評価が、小学校19%、中学校36%という結果になっている。

特に、中学校における否定的な評価が高めの結果となっているが、今後、2学期制により、長い期間で目標達成に向けて学習を進めることができるようになったことや、その具体的な取組みなどを、学校経営方針に掲げ、保護者、

地域に分かりやすく説明し、2学期制に対する理解が深まるよう学校に対して指導していく考えだ。

<鈴木コメント> 学校アンケートで保護者の意見を聞いたように答えているが、実際には、2学期制に関連づけての質問は、平成23年度から無くなっている。極めて不誠実な答弁だ。ちなみに平成22年度までの学校アンケートでは、小学校で約30%、中学校で約50%の保護者が2学期制について否定的評価を続けていた。こうした声に耳を貸さずに「2学期制を理解しない保護者が悪い」かのような発言を続けている教育委員会の姿勢は問題だ。

鈴木 中学校で、テストと部活動の大会が重なるという問題点をどう認識しているか？

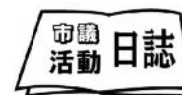
教育長 定期テストの準備期間と、部活動の大会が重なる場合は学期制にかかわらずあり、2学期制に特化した問題ではないと認識している。市内の学校では、基本的に、定期テストの2週間前から部活動は中止するとともに、大会が重なっている部活動については、過度の練習にならないよう配慮しながら行っていることから、部活動と定期テストのための学習は、両立できていると認識している。

<鈴木コメント> 今年度の野球部の大会と、前期・中間テストの日程を示した(右上)。広域的な部活の大会は、3学期制のスケジュールで組まれることが多く「勉強と部活の両方がんばれない」事態を生んでいる。ちなみに3学期制のあきる野市の中学校では、重ならず済んでいることがわかる。

部活動(野球部)大会とテストの日程(今年度)

5月	21	月	
	22	火	あきる野市・中間テスト
	23	水	あきる野市・中間テスト
	24	木	
	25	金	
	26	土	
	27	日	
	28	月	
	29	火	
	30	水	
	31	木	羽村一中・中間テスト
6月	1	金	羽村一中・中間テスト
	2	土	野球部大会(一回戦)
	3	日	野球部大会(一回戦)
	4	月	
	5	火	
	6	水	
	7	木	羽村二中、三中・中間テスト
	8	金	羽村二中、三中・中間テスト
	9	土	野球部大会(二回戦)
	10	日	野球部大会(二回戦)
	11	月	

(→2学期制についての記事は裏面に続く)



10月16日 市議会経済委員会の視察に参加する。行き先は、都下の下高井戸商店街、戸越銀座商店街の二ヶ所。いずれも厳しい経済状況の中、消費者目線で、生き残りをかけた様々な試みをおこなっている。羽村でも商工会が、配達1回100円で利用できる買い物代行事業をスタートさせた。期待したい。(インターネットで「はむらe市場」で検索できます) **(鈴木)**

★無料法律相談は
・11月13日(火)午後1時半からです。
電話でお申し込みください。
鈴木たくや080-1058-9450 まで。

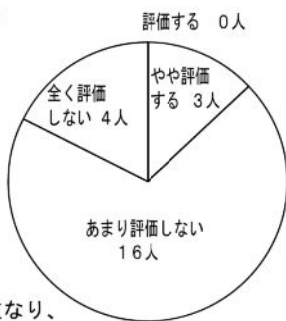


Q.「2学期制を評価していますか？」

一中3生の保護者に聞きました
(鈴木議員による電話アンケート 今年5月実施)

(主な意見)

- ◆やや…まだよく分からない。
- ◆あまり…夏休み明けに期末テストは不自然。部活大会とテストが重なり、両方頑張れない。
- ◆全く…デメリットが明らかなのに、なぜ続けるのか。



鈴木 中学校で、夏休み明け9月に期末テストが行われるという問題点をどう認識しているか？

教育長 2学期制では、長期休業日を活用して、休業日前に達成できなかった学習内容が十分に身に付くように課題を出したり、補習などの学習の機会を設定したりすることで、教員が児童・生徒の学習に継続的に関わり、学習したことが確実に身に付くように指導をおこなっている。

中学校の夏休み明けにある前期末テストについては、生徒が夏季休業日中に課題の克服を行ったり、前期末テストに向けての準備を進めたりすることができることから特に問題はなく、むしろ生徒には十分な学習時間が保障されていると認識している。

<鈴木コメント> この答弁も、全く実態をふまえないものだ。親が黙っていても勉強をする子どもは良い。しかしそうはいかないのが実際だ。結局、休み中に学習塾通い、あるいは、十分に勉強できないまま試験に突入、ということになる。勉強面については、「2学期制では試験範囲が広すぎて大変」「テストの回数が2回減ことはマイナス」など様々な2学期制の問題点が保護者からは指摘されている。

鈴木 2学期制から3学期制に戻す自治体が増えている。2学期制には根本的な無理がある故だと考えるが、どう認識しているか？

教育長 3学期制へ戻した自治体の多くは、羽村市とは2学期制導入の目的が異なり、授業時数の確保を主たる目的としており、土曜日の活用など学期制の変更以外の方策により、授業時数を確保することができるようになったことが、3学期制へ戻した主な理由と聞いている。また、羽村市とは異なり、2学期制の学校と3学期制の学校が混在するなど、学期制が統一されていない自治体もあり、その結果、様々な活動に支障をきたすために全て3学期制に揃えたケースもあると聞いている。

いずれも羽村市とは2学期制導入目的、2学期制の形態や実態が異なり、2学期制自体に無理があるとは認識していない。教育委員会としては、新しい学習指導要領や小中一貫教育の基本方針等を踏まえ、2学期制の推進に努めるとともに、その成果、課題を検証しつつ、更なる充実を図っていく。

<鈴木コメント> 「長期休暇で学期が区切れず、メリハリが付きにくい」「テストの回数が減り、学力低下につながる恐れがある」「部活動の対外試合がスケジュールが合わない」…2学期制から3学期制に戻した自治体で、その理由として報告されている内容だ。羽村でもまったく同じような問題が指摘されている。

2学期制が始まってから今年で9年目。「2学期制になって良かった」の声は市民からは全く聞こえてこない。教育委員会はこうした実態にしっかり目を向け、2学期制の是非を根本から問い直す勇気を持つべきだ。



衆院東京25区予定候補・井上たかしさんからのレポートをお伝えします。

◆先日の駅頭早朝宣伝では、自民党の現職・井上信治氏の陣営とかちあい、自共対決、井上対決となりました。あちらも本人とスーツ姿の数人の私設秘書がピラを配っています。よく見ると、前回の青梅市議選で「無所属」で立候補し、落選した新人も混ざっていました（なんだ自民党だったのか！）。

◆自民・井上議員は、マイクのボリュームをかなりしぼっていたので、何を言っていたのかはよくわかりませんでした。気がつくのと、一人の男性がおだやかでない様子で例の私設秘書に何か話しています。

◆秘書はその男性をなだめていましたが、今度はその男性が私

の前を通った時…私が持っていたポスター「原発はいらない」をじっと見て通り過ぎて行きました。男性は原発問題で抗議していたとのこと。「もとはと言えば、自民党の責任じゃないか」という抗議、ここでも自民党と共産党の違いが鮮明に出たと思います

◆また、ある女性が、私が持っているポスターを「私最近いつもこれ思うのよ」と指でグリグリ。見てみると「若者にマトモな仕事を」の文字をなぞりながら、「今って高齢者にばかり仕事があって、若い人いないのよねえ」と。みなさん、真剣に日本の行く末を考えています。

◆若い人たちを部品のように使い捨てる労働法制の改悪をすすめてきたのが自民党、それを引き継いだのが民主党、もっとやれと言っているのが維新の会、やはりこの勢力に国民の願いは託せません。総選挙で日本共産党を大きくしなければ！
(10/25)